ポインティング デバイスおよびキーボード
ユーザ ガイド

このガイドについて

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピュータで対応していない場合もあります。

目次

1 ポインティング デバイスの使用

名称		説明
(1)	ポインティング ステック*	ポインタを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
(2)	左のポインティング ステック ボタン*	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(3)	タッチパッド*	ポインタを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
(4)	左のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(5)	中央のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの中央ボタンと同様に機能します
(6)	右のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します
(7)	タッチパッドのスクロール ゾーン	画面を上下にスクロールします
(8)	右のポインティング スティック ボタン*	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します
(9)	中央のポインティング ステック ボタン*	外付けマウスの中央ボタンと同様に機能します

*この表では初期設定の状態について説明しています。ポインティング デバイスの設定を表示したり変更したりするには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[マウス]**の順に選択します。

ポインティング デバイス機能のカスタマイズ

[マウスのプロパティ]にアクセスするには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[マウス]**の順に選択します。

ボタンの構成、クリック速度、ポインタ オプションのような、ポインティング デバイスの設定をカスタマイズするには、Windows®の[マウスのプロパティ]を使用します。

タッチパッドの使用

ポインタを移動するには、タッチパッドの表面でポインタを移動したい方向に指をスライドさせます。タッチパッド ボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に使用します。タッチパッド垂直スクロール ゾーンを使用して画面を上下にスクロールするには、スクロール ゾーンの線上で指を上下にスライドさせます。

注記： ポインタの移動にタッチパッドを使用している場合、まずタッチパッドから指を離し、その後でスクロール ゾーンに指を置きます。タッチパッドからスクロール ゾーンへ指を動かすだけでは、スクロール機能はアクティブになりません。

ポインティング スティックの使用

ポインタを移動するには、ポインティング スティックを移動したい方向に向かって押しつけます。ポインティング スティックの左、中央、および右のボタンは、外付けマウスの各ボタンと同様に機能します。

外付けマウスの接続

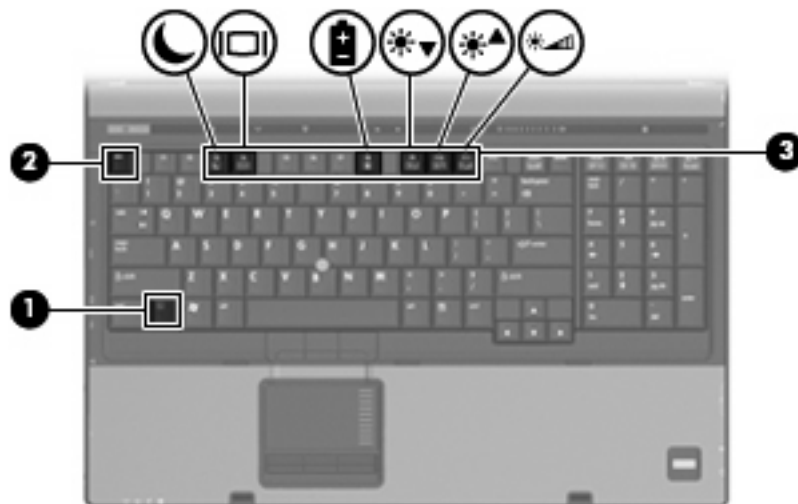
いずれかの USB ポートを使用して外付け USB マウスをコンピュータに接続できます。 外付けマウスは、別売のドッキング デバイスを使用してシステムに接続することもできます。

2 キーボードの使用

ホットキーの使用

ホットキーは、fn キー（**1**）と、esc キー（**2**）またはどれかのファンクション キー（**3**）の組み合わせです。

f3、f4、および f8 ～ f11 の各キーのアイコンは、ホットキーの機能を表します。ホットキーの機能および操作については次の項目で説明します。

注記： お使いのコンピュータの外観は、図と多少異なる場合があります。また、次の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです。

機能	ホットキー
システム情報を表示する	fn ＋ esc
スリープを開始する	fn ＋ f3
コンピュータ本体のディスプレイと外付けディスプレイで表示画面を切り替える	fn ＋ f4
バッテリ情報を表示する	fn ＋ f8
画面の輝度を下げる	fn ＋ f9
画面の輝度を上げる	fn ＋ f10
周囲光センサを有効または無効にする	fn ＋ f11

ホットキー コマンドをコンピュータのキーボードで使用するには、次のどちらかの操作を行います。

- 短く fn キーを押してから、ホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押します。

  -または-

- fn キーを押しながらホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押した後、両方のキーを同時に離します。

システム情報の表示（fn+esc）

fn+esc を押すと、システムのハードウェア コンポーネントおよびシステム BIOS のバージョン番号に関する情報が表示されます。

Windows では、fn+esc を押すと、システム BIOS (基本入出力システム) のバージョンが BIOS 日付として表示されます。 一部の機種では、BIOS 日付は 10 進数形式で表示されます。 BIOS 日付はシステム ROM のバージョン番号で表されることもあります。

スリープの開始（fn+f3）

△ **注意：** 情報の損失を防ぐため、スリープを開始する前に必ずデータを保存してください。

スリープを開始するには、fn+f3 キーを押します。

スリープを開始すると、情報がシステム メモリに保存され、画面表示が消えて節電モードになります。 コンピュータがスリープ状態のときは電源ランプが点滅します。

スリープを開始する前に、コンピュータの電源が入っている必要があります。

注記： コンピュータがスリープ状態のときに完全なローバッテリの状態になった場合、コンピュータはハイバネーションを開始して、メモリ内の情報をハードドライブに保存します。完全なローバッテリの状態になった場合、出荷時設定ではハイバネーションが開始されますが、この設定は Windows の[コントロールパネル]の[電源オプション]で変更できます。

スリープ状態を終了するには、電源スイッチを右方向に短くスライドさせます。

fn+f3 ホットキーの機能は変更することができます。たとえば、スリープではなくハイバネーションを開始するように fn+f3 ホットキーを設定することもできます。

注記： Windows オペレーティング システムのウィンドウでの「**スリープ ボタン**」に関する記述はすべて、fn+f3 ホットキーに当てはまります。

画面の切り替え（fn+f4）

システムに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるには、fn+f4 を押します。たとえば、コンピュータにモニタを接続している場合は、fn+f4 を押すと、コンピュータ本体のディスプレイ、モニタのディスプレイ、コンピュータ本体とモニタの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります。

ほとんどの外付けモニタは、外付け VGA ビデオ方式を使用してコンピュータからビデオ情報を受け取ります。fn+f4 ホットキーでは、コンピュータからビデオ情報を受信する他のデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます。

以下のビデオ伝送方式が fn+f4 ホットキーでサポートされます。かっこ内は、各方式を使用するデバイスの例です。

- LCD（コンピュータ本体のディスプレイ）
- 外付け VGA（ほとんどの外付けモニタ）
- S ビデオ（S ビデオ入力コネクタが装備されているテレビ、ビデオ カメラ、DVD プレーヤ、ビデオ デッキ、およびビデオ キャプチャ カード）
- HDMI（HDMI ポートが装備されているテレビ、ビデオ カメラ、DVD プレーヤ、ビデオ デッキ、およびビデオ キャプチャ カード）
- コンポジット ビデオ（コンポジット ビデオ入力コネクタが装備されているテレビ、ビデオ カメラ、DVD プレーヤ、ビデオ デッキ、およびビデオ キャプチャ カード）

注記： コンポジット ビデオ デバイスをシステムに接続するには、別売のドッキング デバイスを使用する必要があります。

バッテリ充電情報の表示（fn+f8）

fn+f8 を押すと、コンピュータに取り付けられているすべてのバッテリの充電情報が表示されます。この表示から、充電中のバッテリと、各バッテリの残量を確認できます。

画面の輝度を下げる（fn+f9）

fn+f9 を押すと、画面の輝度が下がります。 このホットキーを押し続けると、輝度が一定の割合で徐々に下がります。

画面の輝度を上げる（fn+f10）

fn+f10 を押すと、画面の輝度が上がります。 このホットキーを押し続けると、輝度が一定の割合で徐々に上がります。

周辺光センサの有効化（fn+f11）

周辺光センサの有効/無効を切り替えるには、fn+f11 を押します。

3 HP Quick Launch Buttons

HP Quick Launch Buttons（HP クイック ローンチ ボタン）を使用して、頻繁に使用するプログラムを開きます。HP Quick Launch Buttons には、インフォ ボタン（**1**）およびプレゼンテーション ボタン（**2**）が含まれます。

	名称	説明
（**1**）	インフォ ボタン	Info Center（インフォ センター）を起動します。Info Center を使用して、あらかじめ設定されたソフトウェア プログラムを起動できます 次のどれかの操作を実行するように、このボタンを再設定することもできます ● Q Menu（Q メニュー）またはプレゼンテーション機能を起動する ● 電子メール アプリケーションを起動する ● Web サイトを検索する検索ボックスを起動する
（**2**）	プレゼンテーション ボタン	プレゼンテーション機能をオンにします次のどれかの操作を実行するように、このボタンを再設定することもできます ● 指定したプログラム、フォルダ、ファイル、または Web サイトを開く ● 電源プランを選択する ● 表示設定を選択する

	名称	説明
		画像は、コンピュータ本体の画面とコンピュータに接続された外付けデバイスに同時に表示されます 次のどれかの操作を実行するように、このボタンを再設定することもできます ● Q Menu または Info Center を起動する ● 電子メール アプリケーションを起動する ● Web サイトを検索する検索ボックスを起動する
(3)	計算機ボタン	Windows の計算機機能を起動します

QuickLook の使用（一部のモデルのみ）

注記： QuickLook（クイックルック）で情報を表示する前に、QuickLook をインストールしておく必要があります。

QuickLook を使用して、Microsoft® Outlook にある電子メールの受信箱、予定表、連絡先、および仕事の情報をコンピュータのハードドライブに保存できます。コンピュータの電源が切れている時、ハイバネーション、またはスリープの時にコンピュータのインフォ ボタンを押すと、これらの情報をすぐに表示できます。

注記： Windows のログオン パスワードを設定している場合は、コンピュータの電源が切れている時、ハイバネーション、またはスリープの時にコンピュータのインフォ ボタンを押すと、パスワードの入力を求められます。

注記： QuickLook および設定について詳しくは、ヘルプを参照してください。

QuickLook のインストール

QuickLook をインストールするには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[Software Setup]**の順に選択します。
2. すべてのチェック ボックスのチェックを外します。
3. **[オプションのソフトウェア アプリケーション]**を展開して、**[HP QuickLook]**を選択します。
4. **[Install]**（インストール）をクリックします。

HP Quick Launch Buttons の[設定]画面の使用

注記： ここに記載されている Quick Launch Buttons の機能は、お使いのコンピュータによっては利用できない場合があります。

HP Quick Launch Buttons の[設定]を使用して、以下のタスクを含むいくつかの操作を行うことができます。

- インフォ ボタンとプレゼンテーション ボタンのプログラムおよびボタンの設定の変更
- Q Menu の項目の追加、変更、および削除
- タイリングの設定

注記： Quick Launch Buttons の[設定]の項目に関する画面上での説明については、ウィンドウの右上隅にあるヘルプ ボタンをクリックしてください。

HP Quick Launch Buttons の[設定]の表示

HP Quick Launch Buttons の[設定]画面は、次のどれかの方法で開くことができます。

- **[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[Quick Launch Buttons]**の順に選択します。
- タスクバーの右端にある通知領域の**[HP Quick Launch Buttons]**アイコンをダブルクリックします。
- 通知領域の[HP Quick Launch Buttons]アイコンを右クリックし、次に**[HP Quick Launch Buttons のプロパティの調整]**をクリックします。

注記： モデルによっては、デスクトップにアイコンが表示される場合があります。

Q Menu の表示

Q Menu では、多くのコンピュータでボタン、キー、またはホットキーを使って起動する各種システム タスクを簡単に起動できます。

Q Menu をデスクトップに表示するには、次の手順を行います。

▲ **[HP Quick Launch Buttons]**アイコンを右クリックし、**[Q Menu の起動]**を選択します。

4　タッチパッドとキーボードの清掃

タッチパッドにごみや脂が付着していると、ポインタが画面上で滑らかに動かなくなる場合があります。これを防ぐには、軽く湿らせた布でタッチパッドを定期的に清掃し、コンピュータを使用するときは手をよく洗います。

⚠ **警告！**　感電や内部コンポーネントの損傷を防ぐため、掃除機のアタッチメントを使ってキーボードを清掃しないでください。 キーボードの表面に、掃除機からのごみくずが落ちてくることがあります。

キーが固まらないようにするため、また、キーの下に溜まったごみや糸くず、細かいほこりを取り除くために、キーボードを定期的に清掃します。圧縮空気が入ったストロー付きの缶を使ってキーの周辺や下に空気を吹き付けると、付着したごみがはがれて取り除きやすくなります。

索引